Information 今月のお知らせ

電話番号

総務企画課
総務係　企画係　財政係　☎82-5210
自然首都推進室（ただみ・ブナと川のミュージアム）　☎82-5963　FAX 72-8356
町民生活課
町民税務係　☎82-5110
生活安全係　☎82-5100
保健福祉課
保健係　☎84-7005
福祉係
成年後見センター　☎84-7010
農林建設課
農林係　☎82-5230
建設係　☎82-5270
交流推進課
観光交流係　商工労働係　☎82-5240
会計室　☎82-5120
只見保育所　☎82-2219
認定こども園　☎84-2038
明和保育所　☎86-2249
朝日診療所　☎84-2221
（歯科）　☎84-2612
こぶし苑　☎84-2101
只見公民館　☎82-2141
朝日公民館　☎84-2111
明和公民館　☎86-2111
教育委員会　☎82-5320
学校給食センター　☎84-7180
議会事務局　☎82-5300
農業委員会　☎82-5230

税 今月の納期

11月25日までに納めましょう

●町県民税（3期）
●国民健康保険税（5期）
●農集排使用料（11月分）
●介護保険料（5期）
●後期高齢者保険料（4期）

お知らせ

ふくしま復興とSDGsを考える県民シンポジウム2026

震災と原発事故から15年が経過する中、今後の復興をさらに前進させるために何が必要か、ふくしまの未来を考える県民シンポジウムを開催します。参加には事前申込が必要です。

【日時】
令和8年12月12日（土）
午後1時～3時

【会場】
FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA
双葉郡双葉町大字中野字宮ノ脇1番1

【参加料】
無料

【定員】
130名（先着順）
オンライン配信あり

【登壇者】
浜通り、中通り、会津の各地域で活躍している事業家等。只見町からも登壇予定です。

【申込方法】
・ホームページから
www.fukko-fukushima.jp
・電話から
☎024-961-9630
事務局（株）企画室・コア

※オンライン配信の視聴は申込不要です。

【その他】
SDGsの推進に向けた取組の発表・展示も行います。

【主催】
福島県

【後援】
復興庁、福島大学、アカデミア・コンソーシアムふくしま、福島県市長会、福島県町村会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

●お問合せ先
☎024-521-7129

ホームページはこちら

放送大学 入学生募集のお知らせ

放送大学は、4月入学生を募集しています。

10代から90代の幅広い世代、約8万4千人以上の学生が、大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で学んでいます。

授業には3つのスタイルがあり、BS放送やインターネットで視聴する、また講師から直接受ける授業があります。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・情報・自然科学など、300以上の幅広い授業科目があり、1科目から学ぶことができます。

卒業すれば学士の学位を取得できます。

1単位の授業料は6千円（入学料は別）。半年ごとに学ぶ科目分だけの授業料を払うシステムです。

全国にキャンパスにあたる学習センターやサテライトスペースが設置されており、面接授業（スクーリング）の開講やサークル活動などの学生交流も行われています。

資料を無料で差し上げています。お気軽に放送大学福島学習センターまでご請求下さい。出願期間は、第1回は2月28日まで、第2回は3月15日まで。

●お問合せ先
放送大学福島学習センター
☎024-921-7471

あなたの好きな「図柄ナンバープレート」のデザインを投票しよう

会津地域１７市町村では、地域の魅力を全国に発信するため、会津版図柄入りナンバープレートの導入を目指しています。

このたび、応募いただいた図柄デザインの中から、図柄ナンバー選考委員会にて最終候補となる３作品を選定し、オンラインでの住民投票を実施します。

この住民投票の結果を踏まえ、図柄ナンバー選考委員会で最終的な提案デザインを決定し、国土交通省へ提案します。

地域の魅力を表現した図柄を選ぶ大切な機会ですので、皆さまのご参加をお待ちしています。

- **投票期間**：令和８年１１月２日(月)～１１月３０日(月)
- **投票できる方**：会津地域にお住まいの方
  （お一人につき１回まで）
- **応募方法**：特設ホームページにアクセスいただき、投票フォームから投票ください。

※実際のデザインはカラーです。



▲赤瓦の鶴ヶ城



▲会津塗



▲会津の恵み

●お問合せ先
只見町役場　総務企画課企画係
☎０２４１－８２－５２１０
会津総合開発協議会　事務局
☎０２４２－２４－６３１２

▲お問い合わせフォームはこちら

▲会津ナンバー特設ホームページはこちら

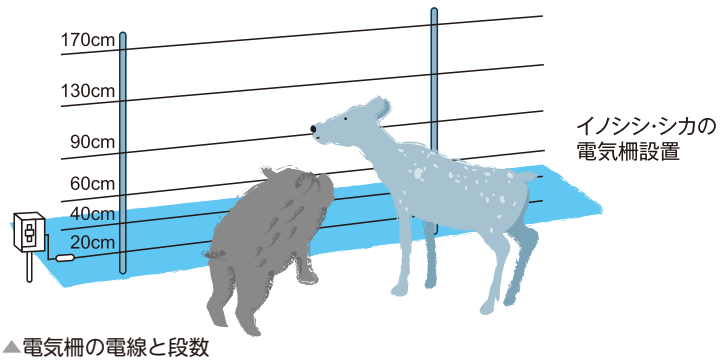
鳥獣被害対策の現場から「ニホンジカ対策」

ニホンジカ被害の現状

福島県内において昭和５３年はシカの生息域が確認できませんが、平成１５年の調査で南会津郡内を中心に確認され、平成２６年には県の西側で南から北に生息域が拡大しています。県では計画に基づく目標捕獲頭数を達成しているにも関わらず、シカの生息数、生息密度は増加しており、生息域が拡大する急増期に入っていると考えられます。町内でもシカによる水稲の踏みつけや食害が発生しています。

ニホンジカ被害の対策

イノシシやシカに侵入防止柵から侵入される場合、多くは地面との隙間から侵入されます。イノシシ同様、電線の間隔を２０㎝以下とし、跳躍力もあるため柵の段数は３～５段程度とします。多獣種に対応した複合柵として設置することで、侵入防止効果を高めつつ、設置や管理の負担を軽減させることが大切です。



▲電気柵の電線と段数
設置当初から防草シート（可能なら通電性のもの）の利用が望ましい
『野生鳥獣被害防止マニュアル【総合対策編】』(2023農林水産省) p. 28より引用

参考文献　・『野生鳥獣被害防止マニュアル【総合対策編】』(2023) 農林水産省
・『福島県ニホンジカ管理計画（第３期）』(2026) 福島県

●お問合せ先　農林建設課農林係　☎０２４１－８２－５２３０